

令和 6 年度
入学案内
(一般入学者選抜)



愛媛県立今治工業高等学校
全日制 工業科

〒794-0822 愛媛県今治市河南町1丁目1番36号

TEL (0898) 22-0342 (代表)

FAX (0898) 22-6089

URL <https://imabari-th.esnet.ed.jp/>

I 一般入学者選抜実施要項

1 出願要項

(1) 募集定員

全日制課程工業科	200名	}	機械造船科	40名
			電気科	40名
			情報技術科	40名
			環境化学科	40名
			繊維デザイン科	40名

※ 募集人員は、募集定員から推薦入学確約者数を差し引いた数とする。

(2) 出願資格

入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- ア 令和6年3月末日までに中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校（以下「中学校等」という。）を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者
- イ 中学校等を卒業した者又は中等教育学校の前期課程を修了した者
- ウ 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(3) 通学区域

通学区域は、県下一円とする。

(4) 出願書類

在籍又は出身の中学校等又は中等教育学校の校長（以下「中学校長」という。）を経て、下記の出願書類を本校校長に提出すること。

ア 入学願書

入学選考料(2,200円)に相当する愛媛県収入証紙を所定の箇所に貼ること。（消印・割印はしないこと。）

イ 受検票

受検票及びその控えに、出願前6か月以内に撮影した縦4cm、横3cmの顔写真を貼ること。（写真の裏面に氏名・出身学校名を記入し、全面にのり付けすること。）

ウ 自己申告書（希望者のみ）

中学校等又は中等教育学校において年間30日以上長期欠席のある入学志願者は、本人の希望により、欠席の理由等を記載した自己申告書（厳封すること。）を入学願書に添え、本校校長に提出することができる。

なお、学校への復帰を前提に公的機関等で相談・指導を受けたことのある入学志願者にあつては、年間の欠席日数が30日未満であっても自己申告書を提出することができる。

(5) 出願期間

ア 出願期間は、令和6年2月15日(木)午前9時から同月21日(水)正午までとし、受付時間は、土曜日及び日曜日を除く日の午前9時から午後4時まで（同月21日(水)にあつては、午前9時から正午まで）とする。

なお、郵送等の場合も、同期間内に必着のこと。

イ 保護者の転勤に伴う県外からの出願については、志願変更期間中も出願することができる。

(6) 出願制限

入学志願者は、二つ以上の公立高等学校（他の都道府県の公立高等学校を含む。）又は課程に出願することはできない。ただし、本校において二つの小学科を志望する場合、当該小学科のうち一つの小学科を第2志望とすることができる。

(7) 志願変更

ア 出願手続を終えた者で、学校、課程又は学科の志願変更を希望するものは、下記のウに示す期間に、いずれの学校、いずれの課程、いずれの学科へでも1回に限り志願変更をすることができる。

イ 志願変更を希望する者は、その旨を中学校長に申し出て手続を行うこと。

ウ 志願変更期間は、令和6年2月22日(木)午前9時から同月29日(木)正午までの間とする。期間中の受付時間は、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く日の午前9時から午後4時まで（同月29日(木)にあつては、午前9時から正午まで）とする。

(8) 報告書

中学校長は、次の報告書を、令和6年2月22日(木)午前9時から同月29日(木)正午までの間に、本校校長に提出するものとする。

ア 調査書

イ 学習成績等一覧表

(9) 入学志願者数異動状況等の掲示

入学志願者数の異動状況は、(小)学科別に令和6年2月22日(木)から同月29日(木)までの間、本校事務室前にて掲示する。

なお、志願者数は、入学志願者数と推薦入学確約者数の合計とする。

(10) その他

- ア 令和6年3月5日(火)までに受検票を中学校長を経由して入学志願者に交付する。
- イ 既に納付した入学選考料は、一切返還しない。

2 学力検査等

(1) 期日及び日程

期 日	時 間	教 科 等	期 日	時 間	教 科 等
令 3 和 月 6 7 年 日 (木)	9 : 00 ~ 9 : 30	点呼・受検上の注意	令 3 和 月 6 8 年 日 (金)	9 : 00 ~ 9 : 30	点呼・受検上の注意
	9 : 45 ~ 10 : 30	国 語		9 : 45 ~ 10 : 35	数 学
	10 : 50 ~ 11 : 15	国 語 (作文)		10 : 55 ~ 11 : 55	英 語
	11 : 35 ~ 12 : 25	理 科		11 : 55 ~ 12 : 55	(昼 食)
	12 : 25 ~ 13 : 20	(昼 食)		13 : 05 ~	面 接
	13 : 25 ~ 14 : 15	社 会		〔繊維デザイン科入学志願者の午後からの日程〕	
			13 : 05 ~ 13 : 35	実 技 テ ス ト	
			13 : 50 ~	面 接	

- (2) 受検者 入学志願者全員
- (3) 検査場 本校
- (4) 持参品

- ア 受検票(受検中は机の上に置くこと。)、鉛筆(シャープペンシルも可)、鉛筆削り、消しゴム、コンパス、定規(分度器兼用のものを除く。)、弁当とする。下敷きは必要としない。
- イ 上記以外のもの(分度器、計算・翻訳・通信等の機能をもった物品等)の学力検査場への持込みは、禁止する。

(5) 留意事項

- ア 原則として、各教科とも検査開始5分前までに入室することとし、検査開始の時刻までに入室しない者は、その時間の教科を受検できないものとする。
- イ 入学志願者全員に対して、令和6年3月8日(金)学力検査終了後、午後1時5分から、面接を行う。繊維デザイン科の入学志願者(第2志望者を含む。)の面接は、実技テスト終了後に行う。
- ウ 面接開始5分前までに面接控室に入室することとし、面接開始の時刻までに面接控室に入室しない者は、原則として面接を受けられないものとする。

(6) 実技テスト

- ア 繊維デザイン科入学志願者(第2志望者を含む。)に対して、令和6年3月8日(金)学力検査終了後、午後1時5分から、実技テストを30分間行う。
- イ 実技テストは、基本的な題材を鉛筆で表現するものとし、内容については、当日指示する。
- ウ 持参品は、受検票、黒鉛筆(2B及びHB)、鉛筆削り、消しゴムとする。
- エ 実技テスト開始5分前までに入室することとし、実技テスト開始の時刻までに入室しない者は、原則として実技テストを受検できないものとする。

3 入学者の選抜方法

報告書、学力検査の成績並びに面接及び実技テストの結果を資料とし、学科等の特色を踏まえて、その教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定し、次の第1選抜及び第2選抜の順に選抜し、合格者を決定する。ただし、入学志願者数が募集人員を下回っている場合は、(1)及び(2)中「募集人員」とあるのは、「入学志願者数」と読み替えるものとする。

(1) 第1選抜

調査書点が上位から募集人員の90パーセント程度以内にある者のうち、調査書の記録並びに面接及び実技テストの結果が良好な者を対象にして、学力検査の成績の上位順に募集人員の70パーセント程度の者を選抜する。この場合において、当該学科を第1志望とする者を対象とする。

(2) 第2選抜

第1選抜で選抜されなかった全ての者を対象に、学力検査の成績に基づく得点(A)、調査書点に基づく得点(B)、調査書の各教科の学習の記録以外の記録並びに面接及び実技テストの評価に基づく得点(C)を用いて、募集人員の30パーセント程度の者を選抜する。本校におけるA、B、Cの比率は、A : B : C = 3 : 3 : 4とする。

なお、学力検査の成績、調査書の記録又は面接若しくは実技テストの結果のいずれかにより、本校生として成業の見込みがないと判断した場合には、合格者としなない。

4 合格者の発表

令和6年3月18日(月)午前10時に、本校において、受検番号を掲示して行う。

5 学力検査の得点等の郵送又は口頭による開示請求

- (1) 学力検査の得点等については、郵送又は口頭により開示請求をすることができる。
- (2) 郵送又は口頭による開示請求をすることができる期間は、令和6年3月18日（月）から1月間とする。
なお、郵送による開示請求をするときは、当該期間の消印があれば期間内に開示請求があったものとみなすこととする。
- (3) 郵送による開示請求は、試験等成績開示請求書に必要事項を記入の上、入学志願者本人が本人であることを確認できる顔写真付きの書類（受検票等）の写し及び返信用封筒（宛先を明記し簡易書留郵便料金相当分の切手を貼付したもの）を同封し、志願先の高等学校に郵送することにより行うこと。
- (4) 口頭による開示請求は、入学志願者本人が本人であることを確認できる顔写真付きの書類（受検票等）を持参の上、土曜日、日曜日及び休日を除く日の午前9時（令和6年3月18日（月）にあつては、午前10時）から午後5時までの間に、本校で行うこと。
- (5) 開示内容については、調査書点並びに学力検査の教科別得点及びその合計得点とする。

6 その他

合格者は、令和6年3月22日（金）午後1時30分に本校において入学説明会を行うので、筆記用具を用意し、必ず保護者と同伴で本校体育館に集合すること。入学説明会では、併せて学用品等の販売を行うので、約5万円の費用が必要である（令和5年12月現在の予定）。制服の購入等、その他詳細な内容については、合格者発表日に合格者へ連絡する。

入学時の納入金は、入学金、教材等購入費、文化・体育後援会特別金、PTA入会金等の合計約9万円（令和5年12月現在の予定）になり、3月末日までに提出する「口座振替納付届」に記入した指定口座より引き落とされる。また、毎月の校納金、授業料に関する事務手続きの詳細は、入学説明会で連絡する。

II 学校の概要

昭和17年に創立された学校で、81年に及ぶ歴史と伝統を持っている。

1 教育方針・校訓・努力目標

(1) 教育方針

教育基本法の本質にのっとり、人格の完成を目指し、民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養い、公共の福祉に貢献する人間性豊かで実践的な技術者を養成する。

(2) 校訓 真理の探究・勤労の尊重・責任の完遂

(3) 努力目標 ものづくりから人づくりへ ーいい汗をかこうー

2 スクール・ミッション（期待される社会的役割、目指すべき学校像）

地域産業に恵まれた今治の工業高校として、地域で学び、地域で働く職業人の育成という地域の期待に応えます。また、実践的なものづくり教育を通して、豊かな人間性を身に付け、将来にわたって主体的に学び、先端技術にも対応できる専門的職業人を育成します。

3 スクール・ポリシー（入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針）

ア グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ・ ものづくりの実践を通して、知識や技術を身に付けさせ、地域や産業界で活躍できる力を育成します。
- ・ 先端技術や時代の変化に対応するための工業各分野の専門的職業人に必要な資質や能力を育成します。
- ・ 自ら考える力を育み、ものごとに主体的に取り組み、行動・表現できる資質や能力を育成します。
- ・ 規範意識を身に付け、豊かな人間性を備えた職業人として必要な姿勢・態度を育成します。
- ・ コミュニケーション能力を磨き、思いやりの心、他者と協働できる力を育成します。

イ カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・ 地域産業界や大学等と連携した実践的な技術教育を行います。
- ・ ICTなど先端機器を活用し、新しいことにも柔軟に対応できる教育を行います。
- ・ 主体的・対話的で深い学びを取り入れた教育を行います。
- ・ 勤労観や職業観を育て、生徒の多様な進路希望に対応する教育を行います。
- ・ 資格取得をサポートし、専門的な知識や技術の定着を図る教育を行います。
- ・ 学校行事や生徒会活動、部活動やボランティア活動を積極的に行います。

ウ アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- ・ 工業各分野に興味や関心を持ち、意欲的に学習する生徒を募集します。
- ・ ものづくりなど、身に付けた知識や技術を地域や産業界で活かしたい生徒を募集します。
- ・ 創造性豊かで、思いやりの心を持ち、仲間と協力できる生徒を募集します。
- ・ 基本的な生活習慣・態度を身に付け、責任感を持って前向きに高校生活を送れる生徒を募集します。
- ・ 学校行事や生徒会活動、部活動やボランティア活動に意欲的に取り組む生徒を募集します。